

ホンヤドカリ (天神島臨海自然教育園)



潮だまり (タイドプール) の代表的な生き物であるホンヤドカリは、甲長1cmほどの小型のヤドカリです。2～6月の繁殖期の雄は、気に入った雌が入居している貝殻をつかみ、交尾のタイミングが来るまでそのまま運び歩きます。これを「交尾前(産卵前)ガーディング」と呼び、確実に自分の子孫を残すためのホンヤドカリ科に共通する行動とされています。やがて雄は、脱皮のために貝殻から出てきた雌と交尾をして雌を手放します。

森を照らす黄色のツワブキ (馬堀自然教育園)



寒さを感じる秋から冬の頃は、ツワブキが見ごろをむかえます。高さ30～70cmの太い花茎(かけい)の先に、筒状花(とうじょうか)と舌状花(ぜつじょうか)が集まった

5cmほどの黄色い花を複数つけます。和名の由来は、葉がフキに似ていることと、光沢があることから呼ばれていた「ツヤフキ」が転じたものだといわれています。若い葉柄(ようへい)はフキと同じように食用になります。ツワブキは海岸から海辺の野山まで生育するため、天神島臨海自然教育園と馬堀自然教育園のどちらでも観察することができます。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園

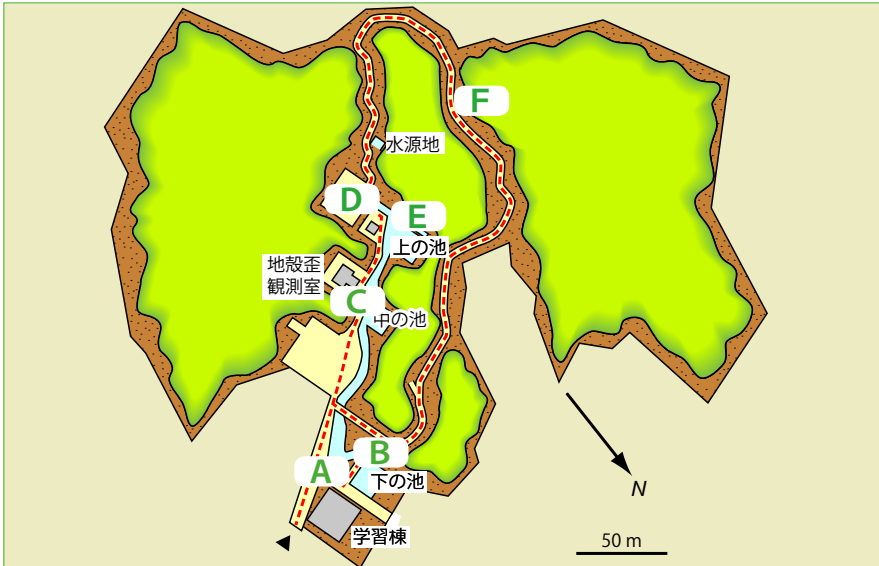
天神島臨海自然教育園

Vol.9 No.3
(2016年秋冬号)

2016年11月29日発行
横須賀市自然・人文博物館
046-824-3688

馬堀のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



写真下の括弧内には撮影した月と場所(地図中のポイントと対応)を示しています。観察の目安にしてください。



ヒラタケ (12月, F)



クサカゲロウの一種 (12月, D)



フキ (2月, A)



ツグミ (1月, B)



ウシカメムシ (12月, C)



ヤマナメクジ (12月, F)



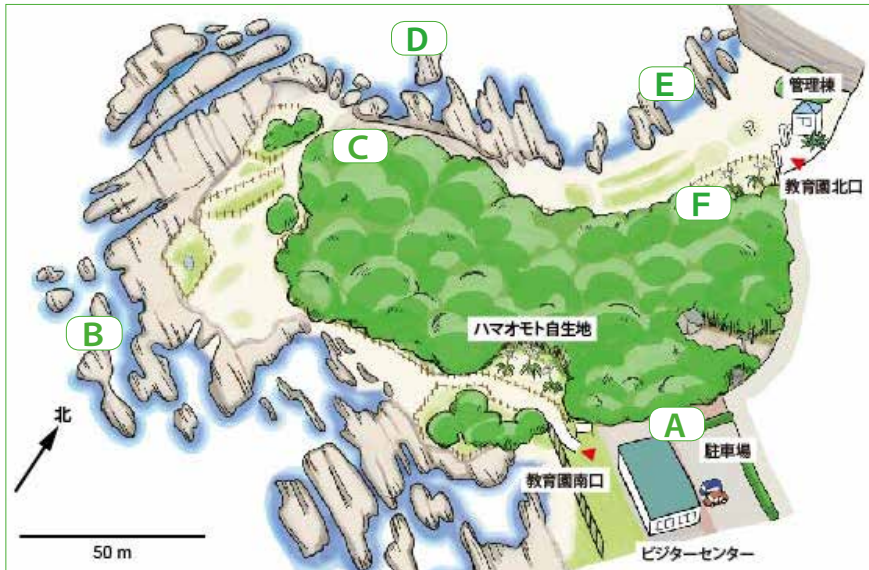
トウキョウサンショウウオの卵のう (2月, E)



イロハモミジ (11月, B)

天神島のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



コゲラ (2月, F)



トサカノリ (12月, E)



アズキウミウシ (12月, D)



タマゴバロニア (1月, D)



ハナイソギク (11月, A)



オオバグミ (11月, C)



ムカデミノウミウシ (2月, B)

自然教育園のできごと

特別展示講演会「天神島—市民が守る文化財の自然—」

8月7日、博物館本館に元館長の林公義氏を講師にむかえ、天神島臨海自然教育園設立の経緯や保全の歴史について詳しくご講演いただきました。1966年の教育園開園前や開園直後には、ハマオモトが盗まれたり、ハマオモトの自生地が来園者によって荒らされたりといった環境破壊行為があったそうです。かつては笠島が釣りのメッカであったという事実や、来園者が

捨てていくゴミの問題、台風など自然災害があったことなども語られました。博物館では監視の強化、禁止看板の設置、ハマオモト群落の再生といった保全に力を入れてきました。その結果、現在では天神島と笠島周辺海域に三浦半島の典型的な海岸の自然が残されています。今後も市民と博物館が協力してその自然を保全し、活用できるように努めていきたいと思えます。



開園直後の天神島臨海自然教育園。



天神島の自然観察会で解説する元林館長。

天神島 50 周年の巡回展示を開催

前号でも紹介したように、2016年（平成28年）に開園50周年を迎えた天神島臨海自然教育園を記念して、7～9月に本館特別展示室において天神島臨海自然教育園開園50周年特別展「天神島大冒険！」が開催されました。

この特別展の巡回展示として、10月29日～11月13日の期間、特別展で展示されたウミウシ模型、ミニジオラマ、水中ビデオ、スライドショー、学芸員のおすすめ見どころパネルなどをそのまま、天神島ビジターセンター3階の講座室へ移設して展示公開しまし

た。会場となった講座室は普段、自然観察会や博物館教室のほか、実習、研修などの広義の場として使用していますが、展示会場としての使用は初めてでした。来場者の中には本館の展示と両方を見学くださり、同じ展示物でも実際に自然教育園の海を背景に展示を見ると違った雰囲気味わえる、と感想をいただきました。

展示物の一部は会期終了後、ビジターセンター展示室や玄関ホールに常設展示に組み込まれ、引き続きご覧いただくことができます。



ビジターセンター講座室で開催された巡回展示のようす。



ビジターセンター入口ホールに移設された新しい海の生き物マグネットパネル。

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館（本館）： 横須賀市深田台 95 電話 046 (824) 3688 Fax. 046 (824) 3658

天神島臨海自然教育園： 横須賀市佐島 3-7-2 電話 (Fax.) 046 (856) 0717

馬堀自然教育園： 横須賀市馬堀町 4-10-3 電話 (Fax.) 046 (841) 5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

